

令和3年度事業報告書

1. 音楽録音事業に関する調査及び研究

(1) 音楽録音事業の基盤となる音楽産業の現状及び将来性についての調査及び研究

- ①関連団体、音楽業界誌などの資料により、音楽制作の市場規模などの調査を実施した。
- ②中国交流プロジェクトはコロナ禍および社会情勢を鑑み一時中断とし、今後の状況を踏まえて再検討することとした。

(2) スタジオ使用の実態調査及び研究

- ①9月、音楽録音事業に関する調査報告書を編纂するため、法人正会員社及び準会員社の売上規模、稼働状況等に関する「第20回音楽スタジオ事業経営実態調査」を実施した。
調査内容：売上の推移、稼働時間と時間単価の推移、スタジオ使用料、スタジオ使用料の見直し、クライアントのスタジオ使用に関する内容について、ライブ録音や生配信について、ブッキング業務の現状について、エンジニアの雇用について、働き方改革について、新型コロナウイルス感染症について、レコーディングスタジオ事業の問題点、スタジオ運営・営業上の対応に苦慮する問題点

(3) 音楽録音事業従事者の雇用に関する調査及び研究

- ①3月、法人正会員社、準会員社、賛助会員社を対象とし、過去1年間に於ける事務職、営業職、技術職に区分した新規採用調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規採用計画状況に関する調査に内容を変更して実施した。
- ②3月、法人正会員社、準会員社を対象とし、担当業務別の正社員数、契約社員数、アルバイト数、マネージメント契約エンジニア数及びインターンシップ受け入れ数について、雇用内容を把握するため、雇用形態調査を実施した。

2. 音楽録音事業に関する研修会及びセミナー等の開催

(1) スタジオ運営に関する研修会等の開催

- ①法人正会員社及び準会員社を対象としたスタジオ運営に関する情報交換会を新型コロナウイルス感染症拡大予防からオンライン会議で開催し、スタジオ各社が抱えている「スタジオ機器メンテナンスで抱える問題」をテーマとして情報交換を行った。
・9月15日(水) 参加者：16社 33名 オンライン会議システム
- ②11月18日(木)、主にスタジオ経営者及びスタジオマネージャーを対象として、スタジオ運営の実態に関する問題点を把握し、対応策を検討することを目的とする「第16回スタジオ意見交換会」を、会員外スタジオの参加も含めオンライン会議にて開催し、「人材確保・育成」に関する問題をテーマ主テーマとして、コロナ禍の対応や延長料金および深夜の交通費等に関する問題を含めて意見交換を行った。
司会進行：明地 権氏 株式会社サウンド・シティ
参加者：法人正会員9社15名、会員外スタジオ2社4名 計18名

(2) スタジオ施設に関する見学会の開催

- ①賛助会員を対象とし、スタジオ設立からの沿革、音響設計に関する基本コンセプト等を把握することを目的とする「スタジオ見学会」については、新型コロナウイルス感染症拡大予防を踏まえ実施を見送りとした。

3. 音楽録音事業に関する機材及び技術の調査並びに人材育成

(1) エンジニアの質的向上を図るため、国内の専門家を講師とする研修会等の実施

①数名のエンジニア有志から JAPRS に提案されたデジタルマルチ録音におけるリファレンスレベル-18dBFS または-20dBFS の推奨もしくは提案について、協会としての推奨値を-18dB とするが、業務対応上の事情で直ぐの対応が難しいスタジオもある状況を踏まえ、各スタジオとして採用しているリファレンスレベルを明示するとともに、セッションファイルにもリファレンスレベルが分かるようにテキスト情報を付加することとした。

※以下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止等とした活動計画を記す。

②実際にスタジオからの音楽配信を行っている事例を取り上げ、企画から実施までの取り組みに関するセミナーを実施する。

③3D・イマーシブオーディオに関する開発・推進企業からのシステム紹介とビジネス対応、そして制作に関わったエンジニアから制作に纏わる実情を説明いただくセミナーを実施する。
(Dolby Atmos、Sony 360RA に対応したスタジオからの配信セミナーやヘッドホンレンダリングによるイマーシブ体験を検討)

④ストリーミング対応のマスタリングについて、通常CDとのマスタリングや配信によるハイレゾダウンロード音源との違い、またマスタリング後の音声処理に関する問題に関する数名のエンジニアによる対談を実施する。

⑤賛助委員会/技術委員会の共同開催により、スモールモニタースピーカ各種試聴会を実施する。

⑥11月18日(木)、幕張メッセに於いて開催される「Inter BEE 2021」に関し、賛助会員社ブースツアーを実施する。オンライン開催となった場合は別途出展社サポートを検討する。

⑦新型コロナウイルス感染症の影響により中断している人材育成を目的とした北京(中国伝媒大学および中国録音技師会等)との技術交流セミナー東京開催に関して、今後の継続対応を含めた検討および情報交換を進める。

(2) エンジニアを対象とした機器メーカーによる新規開発技術及び新機器についての研修会

①11月17日(水)より19日(金)まで、幕張メッセに於いて開催される予定であった「Inter BEE 2021」ブースツアーについては、会員社からの出展が3社であったことやコロナ禍による制限等の影響を踏まえて中止とした。

(3) 資格認定制度に基づく第20回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験の実施

①4月20日(火)、「2021年度版問題集/技術資料集」(B5判193頁)を発行した。

②4月、受験申請書、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。

③5月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。

④6月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成送付し、実施に向けて対応した。

④8月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成送付し、実施に向けて対応した。

⑤7月4日(日)、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、感染症予防対策を講じながら、札幌、仙台、郡山、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の9地区27ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。

受験申請者数：747名、受験者数：684名

(※前年度の受験申請者数572名に対し大幅な増となった。)

⑥8月、受験者に対して認定証カード及び成績証明書を作成し、交付した。

⑦3月、令和4年7月に実施する「第21回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験」を控え、告知ポスター及び受験案内パンフレット並びに団体受験マニュアルを作成し、団体受験

候補先及び会員スタジオに配布した。

(4) 資格認定制度に基づく第18回JAPRS認定Pro Tools技術認定試験の実施

- ① 4月、資格認定制度委員会内に「2021年度版問題集／技術資料集」作成小委員会を組織し、問題集の作成を開始した。
- ② 5月、9月12日（日）に実施する認定試験を控え、告知ポスター、受験案内パンフレット、受験申請書、団体受験マニュアル、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。
- ③ 6月18日（土）、初級編、中級編及び技術資料集に区分された「2021年度版問題集／技術資料集」（B5判233頁）を発行した。
- ④ 7月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。
- ⑤ 8月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成し、実施に向けて対応した。
- ⑥ 9月11日（日）、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、感染症予防対策を講じながら、札幌、仙台、新潟、小山、東京、横浜、川崎、名古屋、大阪、広島、博多の11地区27ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。
受験申請者数：977名、受験者数：839名
（※前年度の受験申請者数808名に対し大幅な増となった。）
- ⑦ 10月、受験者に対して成績証明書、認定証カードを作成し、交付した。

(5) 専門学校の学生を対象とした研修会等の実施

- ① 5月22日（土）、専門学校学生を対象とし、JAPRS法人正会員、準会員、賛助会員企業の出展による就職支援説明会「JAPRS企業説明会」を新型コロナウイルス感染症拡大予防を踏まえ、ビクタースタジオミーティングルームをホスト会場としてオンライン開催した。また、当日参加出来なかった学生に向けてアーカイブ配信を実施した。
参加企業：株式会社キング関口台スタジオ、株式会社サウンドインスタジオ、株式会社サウンド・シティ、株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント、株式会社ミキサーズラボ、株式会社エムアイセブンジャパン、株式会社メディア・インテグレーション
- ② エンジニア人材育成プログラムとして、正会員スタジオ2社および賛助会員専門学校1社の協力により、アシスタントエンジニアを目指す専門学校を対象に、レコーディングスタジオに於ける現役エンジニアによる「2021年レコーディングセミナー（スタジオワーク編）」を東京、名古屋、大阪地区に於いて実施計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ開催が難しいと判断し、その代わりとして高田会長が携わったレコーディング風景を撮影したドキュメント動画によるJAPRSエンジニア研修会Vol.1「井筒香奈江・スタジオレコーディング ドキュメント映像で伝えたい事」、そしてVol.2「サウンド創りへの基本講座」を動画配信により開催した。
- ③ 「2021年度JAPRS新人エンジニア育成研修会」の一環として、専門学校での学校生活を経て、現在レコーディング業界で働く先輩から、実体験に基づく話が聞ける「エンジニアQ&Aコーナー」を収録動画としてYouTube配信を行った。
司会：阿部 純也 東放学園音響専門学校
エンジニア：小島 悠輔 専門学校東京ビジュアルアーツ 卒
／(株)エムアイティギャザリング
清水 美穂 キャットミュージックカレッジ専門学校 卒
／(株)ミキサーズラボ

(6) 専門学校に於ける職業実践専門課程に関する教育課程編成への支援・協力

①文部科学省より平成26年4月から従来の専修学校（専門課程）の上位に位置する新たな枠組みとして「職業実践専門課程」を新設することが内示されたが、JAPRS賛助会員に加盟する専門学校が、この専門課程を申請するに当たり、認定基準となる教育課程（カリキュラム）の編成、演習、実習等の内容、教員研修、学校評価等に対するアドバイザーとして、当協会に対する教育課程編成委員就任の要請があり、今期は、以下の各氏が就任し、専門学校に協力した。

仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校	目等 進氏	個人正会員
専門学校デジタルアーツ仙台	〃	〃
専門学校名古屋ビジュアルアーツ	深田 晃氏	個人正会員
専門学校ESPエンタテインメント東京	内藤 重利	JAPRS事務局

4. 音楽録音事業に関する技術及び仕様の標準規格の調査及び策定

(1) 音楽録音に伴う音楽コンテンツデータ構築の標準化

①関連団体である演奏家権利処理合同機構MPNとの業務提携契約により、平成24年6月に開始したミュージシャンのレコーディングデータ収集を目的とする、会員スタジオに於けるMPN BOXの設置を継続した。

(2) スタジオ運営に関する規程・フォーマットの標準化

①新ルールを周知するためのスタジオ使用規程モデル告知ポスターを作成し配布、会員スタジオ内での掲示及びスタジオ利用者への周知活動推進を実施した。
②スタジオ運営に関する問題点の共有化、またコロナ禍における状況および対策に関する情報共有を図るため、オンライン会議での情報交換会および状況報告会を実施した。

(3) 音楽制作に係る関連三団体による制作環境の再構築と標準化

①東京音楽事業者連盟及び一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNとともに設立した「レコーディング三者協議会」に於いて、音楽録音業務に係る様々な検討課題の整理・標準化活動を推進した。

(4) 音響設計に関する基礎知識の標準化

①平成18年1月に発行したJAPRS推奨「音楽録音スタジオにおける音響設計ガイドブック」第8刷を継続して頒布し、増刷に向けて写真の入替えおよび一部修正を加えた第10冊の来期4月発行に向けて準備をした。

(5) DVD-Videoの音声規格に関する標準化

①平成21年9月に発行した「サウンドエンジニアのためのDVD-Video音声基礎講座」を継続して頒布した。

5. 音楽録音事業に関する内外関連機関等との交流及び協力

(1) 音楽制作関連団体との情報交換を行う協議会等の開催

①関連団体である一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN及び東京音楽事業者連盟と共に、三団体が共有する音楽制作に関連する課題解消を目的としたレコーディング三者協議会 (ref) に於ける月例の連絡会議(今期はオンラインが主で一部リアル開催)に参画した。
②一般社団法人日本ポストプロダクション協会 (JPPA) が主催し、編集技術者の質的向上を目的として制定し、映像・音響作品及び編集技術者を推奨し表彰する「JPPA AWARDS 2021」を後援した。
③NPO法人ミュージックソムリエ協会が主催する、全国のCDショップ店員の投票だけで選ばれる賞「第14回CD ショップ大賞 2022」を後援した。
④一般社団法人日本オーディオ協会が主催し開催する「Audio FAIR 2021 (OTOT

EN)」を後援、またJAPRSとして技術セミナー開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

- ⑤一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）が主催し、11月17日（水）～19日（金）に幕張メッセに於いて開催された第57回2021国際放送機器展「Inter BEE 2021」の開催に協力した。

6. 音楽録音事業に関する表彰制度の拡充

（1）日本プロ音楽録音賞の実施

- ①「日本プロ音楽録音賞」は、平成5年に当協会が制定した「JAPRS録音賞」を出発点とし、音楽制作、録音に対する認識を高め、音楽産業の更なる質の向上、録音技術者の地位の確立などを目的として平成6年より実施されているもので、一般社団法人日本音楽スタジオ協会（JAPRS）、日本ミキサー協会（JAREC）、一般社団法人日本オーディオ協会（JAS）及び一般社団法人日本レコード協会（RIAJ）並びに一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNの5団体が主催し、経済産業省の後援、日本放送協会（NHK）、一般社団法人日本民間放送連盟（NAB）、株式会社ステレオサウンドの協賛及びサウンド&レコーディング・マガジン、CDジャーナル、ステレオサウンド、プロサウンド、レコード芸術、オーディオアクセサリ、アナログ、ステレオの賛助並びに株式会社ソニー・ミュージックソリューションズ/ソニー・ミュージックスタジオ、株式会社ミキサーズラボ/ワーナーミュージック・マスタリング、株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント/ビクタースタジオ、パナソニック株式会社、株式会社ジェネレックジャパン、株式会社エムアイセブンジャパン、ミックスウェブ株式会社、日本コロムビア株式会社、株式会社キング関口台スタジオ、東洋化成株式会社、株式会社JVCケンウッド・クリエイティブメディア等の協力をいただき、時代に即した形での顕彰区分の見直し、および新型コロナウイルス感染症への防止対策を講じながら「第27回日本プロ音楽録音賞」を実施し、12月6日（月）音の日にキング関口台スタジオ 第1スタジオに於いて、感染症対策として密を避けるために受賞者のみの参加とし、更に3つのグループに授賞区分を分けて授賞式を行った。厳正な審査の結果、各部門1作品の最優秀賞作品とベストパフォーマー賞が選定された。また、授賞式の様子を収録した動画を令和4年3月31日まで限定でYouTube配信を行った。部門別の最優秀賞受賞作品は以下のとおり。

【最優秀賞】

◆Best Sound部門 「クラシック、ジャズ、フュージョン」

《作品》「BEYOND THE STANDARD 4 ベルリオーズ：

幻想交響曲 作品14/黛敏郎：バレエ音楽「舞楽」より

「ベルリオーズ：幻想交響曲 作品14 より第4楽章 断頭台への行進」

アンドレア・バッティストーニ指揮 東京フィルハーモニー交響楽団

発売元：日本コロムビア株式会社 フォーマット：96kHz/24bit 2ch

配信元：e-onkyo music

マスタリング・エンジニア：佐藤 洋 日本コロムビア株式会社

ミキシング・エンジニア：塩澤 利安 日本コロムビア株式会社

◆Best Sound部門 「ポップス、歌謡曲」

《作品》「KOE」より「甘い煙」 佐藤千亜妃

発売元：ユニバーサル ミュージック合同会社 フォーマット：96kHz/24bit 2ch

配信元：e-onkyo music、mora

ミキシング・エンジニア：安達 義規 株式会社ミキサーズラボ

マスタリング・エンジニア：柴 晃浩 株式会社テイチクエンタテインメント

◆Super Master Sound部門

《作品》「ミュゼ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

Live from Muza! 《名曲全集第155回》より

「ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調 第3楽章 Presto」

大友直人(指揮)・東京交響楽団、黒沼香恋(ピアノ)」

発売元：株式会社オクタヴィア・レコード

配信元：e-onkyo music、mora

ミキシング・エンジニア：江崎 友淑 株式会社オクタヴィア・レコード

◆Immersive部門

《作品》「富田勲・源氏物語幻想交響絵巻 Orchestra recording version」より

「桜の季節、王宮の日々」

富田勲 / 藤岡幸夫 指揮・関西フィルハーモニー管弦楽団

株式会社エムアイセブンジャパン

Blu-ray Auro-11.1(7.1.4)

レコーディング・ミキシング・エンジニア：入交 英男 株式会社WOWOW

アシスタント・エンジニア：大川 宏明 株式会社ミカ・ミュージック

◆アナログディスク部門

《作品》「S.Kiyotaka&OMEGA TRIBE 7inch Singles Box」(VPKC-10370)より

「ガラスのPALM TREE」 杉山清貴&オメガドライブ

発売元：株式会社バップ 17cm 45回転

カットイング・エンジニア：北村 勝敏 株式会社ミキサーズラボ

ワーナーミュージック・マスタリング

ミキシング・エンジニア：三浦 瑞生 株式会社ミキサーズラボ

◆放送部門 「2chステレオ」

《作品》「第62回 輝く！日本レコード大賞」より「I'm Here」 三浦大知

TBS HDTV stereo 2020年12月30日放送

ミキシング・エンジニア：中村 全希 株式会社TBSテレビ

セカンド・エンジニア：相馬 敦 株式会社TBSアクト

フロア・チーフ：長井 愛美 株式会社TBSアクト

◆放送部門 「マルチchサラウンド」

《作品》「プレミアムシアター / 藤原歌劇団公演 歌劇「リゴレット」」より

「歌劇「リゴレット」から嵐の三重唱」

ジルダ：佐藤 美枝子 スパラフチーレ：伊藤 貴之 マッダレーナ：鳥木 弥生

合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団 指揮：柴田真郁

日本放送協会 HDTV 5.0ch 2020年3月9日放送

ミキシング・エンジニア：矢野 諭 株式会社ネオテック

セカンド・エンジニア：満尾 智子 日本放送協会

アシスタント・エンジニア：中島 勇太 株式会社ネオテック

◆ベストパフォーマー賞

《作品》「Dynamogenic」より「Turn Right」 川口千里

発売元：キングレコード株式会社 CD

アーティスト：川口 千里

7. 音楽録音事業に関する情報収集及び提供

(1) 会報の発行

①会報誌「JAPRS」を6月に初夏号、1月に新春号として発行した。

初夏号内容：会報初夏号に向けて

会長からの令和3年度活動指針について

技術セミナー「ハイレゾ・オーディオと高画質映像による

スタジオからのライブ配信実践」実施報告

会員動向

令和3年度経済センサスー活動調査へのご協力をお願い

新春号内容：会長年頭挨拶

2021年JAPRSオンライン企業説明会

令和3年度通常総会について

第20回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」実施報告

第18回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」実施報告

「2021年度JAPRS専門学校向けエンジニア研修会」実施報告

第27回日本プロ音楽録音賞の開催と授賞式レポート

第27回日本プロ音楽録音賞 受賞エンジニア&作品紹介

第27回日本プロ音楽録音賞審査委員講評

会員動向

(2) 技術資料集の発行

①4月20日（火）、2021年度版「サウンドレコーディング技術認定試験問題集／技術資料集」（B5判193頁）を発行した。

技術資料集内容：1. 電気の基礎知識

2. 規格表

3. 定番の音響機器

4. 音楽に関わる基礎知識

5. 録音の歴史

6. 音楽スタジオ関連年表

②6月18日（金）、2021年度版「Pro Tools技術認定試験問題集／技術資料集」（B5判233頁）を発行した。

技術資料集内容：A. Pro Tools概要

B. オーディオレコーディング・編集

C. ミキシング

D. Pro Toolsシステム・シンク・MIDIなど

③3月20日（日）、録音に関わる協会技術マニュアル「サウンドレコーディング技術概論・2022年版」を発行した。

(3) インターネットの有効的な活用の推進

①情報公開、情報伝達の普遍的な手段となっているインターネットの利用については、会報・会員リスト・協会活動情報・インフォメーション等の情報を更新した。また資格認定制度に基づく技術認定試験の出願の際、個人受験者用にWeb申し込みフォームを開設し対応、また賛助会員社の販促活動サポートとして「会員社トピックス」をトップページに新設した。

URL <https://www.japrs.or.jp>

E-mail japrs@japrs.or.jp

②JAPRSホームページ上に情報公開を行った。

掲示内容：1. 定款

5. 収支計算書

- | | |
|----------|----------|
| 2. 役員名簿 | 6. 貸借対照表 |
| 3. 社員名簿 | 7. 事業計画書 |
| 4. 事業報告書 | 8. 収支予算書 |

③新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年賀詞交歓会を中止としたが、会長の年頭所感および活動指針をYouTube動画としてホームページにアップし、会員に展開した。

8. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業等

(1) 会員の入会促進

①未加入音楽スタジオ及び機器メーカー等に協会資料を送付する等の活動を実施した。本年度の新加入者は、個人正会員1名であった。

(2) 会員相互の交流活動の実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため交流活動の実施を見送りとした。

①通常総会後に会員の親睦、情報交換を目的とした懇親会を中止とした。

②賛助会員及び正会員との親睦、情報交換を目的とした賛助会員交流会を8月に計画したが中止とした。

③会員及び関連先との親睦を目的とした第32回JAPRSゴルフコンペの開催を中止とした。

④会員相互の情報交換と親睦を目的とした年末交歓会を中止とした。

⑤1月20日(木)、パトウール東京に於いて、コロナ禍を踏まえ会員のみを対象とした賀詞交歓会開催を計画したが中止とした。

(3) 主たる会議開催

I. 総会

①令和3年通常総会

期 日：6月22日(火)

場 所：ピクタースタジオ108をホスト会場としたオンライン開催

議 案：1. 令和2年度収支決算書(案)について
2. 令和3年度収支予算書(案)について

II. 理事会

①5月19日(水) 第27回理事会

オンライン会議システムにて開催

議 案：1. 法人正会員社・準会員社の雇用形態調査報告(総務委員会)
2. 令和2年度事業報告書について
3. 令和2年度収支決算書について
4. 令和3年度事業計画書(案)について
5. 令和3年度収支予算書(案)について
6. 令和3年度通常総会の開催について
7. その他

②1月20日(月) 第28回理事会

オンライン会議システムにて開催

議 案：1. 今期会計進捗報告(2021年12月末まで)
2. 各委員会経過報告
3. その他(会員の退会について)

III. 幹部会(オンライン会議システムにて開催)

①3月28日(月) 第1回

議 案：令和3年度収支見込報告、各委員会 令和4年度活動計画について、その他(総会懇親会の開催について、会員動向、OTOTEN 2022への協力についてなど)